SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
01	行政書士法人きたやま 社員 安仁屋 眞伎	SDGs の取り組み方針としては下記４つの事を実施致します。 すべての人に健康と福祉を：全従業員に対して年 1 回の法定健康診断を実施し、二次健診の受診を促します。再検査が必要な場合は再受診を推奨します。 質の高い教育をみんなに：社内において資格取得を推進し、資格手当を支給するなど、適切な能力開発・教育訓練の機会を提供します。 エネルギーをみんなにそしてクリーンに：コピー用紙の裏紙利用の推進や再資源用紙の使用により、紙の使用量を削減し、資源節約と省エネに繋げます 働きがいも経済成長も：地元住民の積極的な雇用を推進します。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
02	ハレクラニ沖縄 総支配人 福永 健司	ホテル運営を通して、美しい海を維持するためのサンゴ保全、限られたエネルギーの有効活用、サステナブルな調達など、ホテルすべての施設でリサイクル、アップサイクル、リユースを含めた物づくりやオペレーションを提供。SDGs の目標を実現する為、すべての人がワクワクできる豊かな地球と未来を沖縄から創造し続けます。 【SDGs 目標 1、2、3、4、5、8、10】 ・アメニティ製作の一部を障がい者就労施設へ委託し雇用を維持 ・ダイバーシティ採用 ・地域のお子様をホテルへ招待し、職業体験や食育などのプログラムを行う「AO AKUA（アオ アクア）*」プロジェクトを立ち上げました。 ・パイナップルの葉をアップサイクル素材として使用したアメニティの導入 【SDGs 目標 12】 ・フルーツが生まれ変わる循環プログラム。フレッシュオレンジジュースやレモンサワーに使用されるフルーツは破棄されるのではなく、館内の別の施設で再利用。 ・アップサイクルなワークショップ。レストランや客室で提供したワインのコルクを集め、アップサイクルなワークショップの素材として再利用しています。 ・永続的に食材を有効活用し、食材廃棄削減を促進 【SDGs 目標 6、7、9、13、14、15】 ・廃車の窓ガラスを再利用した琉球ガラスを販売 ・ペットボトルの 100%再利用 ・リサイクル可能なアメニティを導入 ・プラスチック製のレジ袋減少のためペーパーバッグを導入 ・天然植物由来材料 100%のさとうきびストローとステンレス製ストローを採用 ・リサイクルプラスチック、植物由来のブラシヘッドを採用した歯ブラシを販売 ・ペットボトル再生利用の不織布バッグの販売 ・マイクロプラスチック防止のウォッシングバックを販売 ・サンゴに優しい日焼け止めの販売 ・客室コーヒーマシーンの使用済みカプセルを回収、リサイクルプログラムへ参画し、培養土をホテル内の植栽に利用	

SDGs の達成に向けた取組

		・ご希望の方のみにシーツやタオル交換を行うエコカードの設置 ・節水栓の導入。水・お湯の使用量が下がることにより、二酸化炭素排出の削減 ・窓の開閉により自動で空調を制限するエアコンの導入 ・電力量を抑える取り組みとして、館内空調の温度管理、館内照明のスケジュール管理 ・沖縄県恩納村と連携し、サンゴ礁地帯をはじめとした海洋環境の改善に寄与する取り組みを行い、「海とサンゴ」について学ぶ教室を設けて宿泊のお客様と共に沖縄の海と向き合っています。 ・恩納村の「ハニー＆コーラル　プロジェクト」へ参画し、ホテル内で養蜂を行っています。 ・国連環境計画主導の持続可能な海洋観光活動を行うため「Green Fins」を遵守 ・界面活性剤を除いたシャンプーの開発 ・ローカルのビーチクリーンへ参加 ・プリントは FSC 認証紙を使用 【SDGs 目標 17】 ・地域の方から誇りに思っていただけるホテルとなるため、地球環境の保全に貢献できるようコミュニティとのパートナーシップを強化しています。	

SDGs の達成に向けた取組

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
03	株式会社レカム沖縄 代表取締役 青山 昌司	株式会社レカム沖縄は、沖縄の地域課題に寄り添い、貧困・ジェンダー・健康・産業・交通・海洋・陸域といった幅広い分野において、制度を通じた実践的な取り組みを行っています。社員の成長と地域の未来をつなぐ架け橋として、「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて行動を続けてまいります。 【ゴール 1】貧困をなくそう ・企業型 DC の導入により、リタイヤメント後の経済的リスクに備える支援を行っています。 ・食事補助制度を通じて、従業員の生活費負担を軽減し、経済的な安定を支援しています。 【ゴール 3】すべての人に健康と福祉を ・定期健康診断・人間ドックの受診補助 ・禁煙手当制度 ・「あるけ！うちなあんちゅ手当」の支給による生活習慣改善支援 ・フィットネスジム利用補助制度 ・社用車全車に AI ドライブレコーダーを搭載し、安全運転の徹底 ・特別有給休暇制度を活用し、従業員が安心して治療に専念できる環境を整備しています。 ・食事補助を通じて、健康的でバランスの取れた食生活を支援しています。 【ゴール 4】質の高い教育をみんなに ・資格取得支援制度の充実 ・手厚い教育研修の実施 ・SDGs パスポートの導入による社内浸透と理解促進 ・社内ポータルや会議での定期的な情報発信 ・企業型 DC 制度を通じて金融リテラシー向上に向けた研修を実施 【ゴール 5】ジェンダー平等を実現しよう ・記念日休暇（誕生日・結婚記念日）の導入 ・育児短時間勤務制度の整備 ・男性の育児休業取得促進（パパママ育休の活用） ・女性の採用比率向上と活躍推進	

SDGs の達成に向けた取組

		【ゴール 8】働きがいも経済成長も ・有給休暇の計画的取得と時間単位取得制度の導入 ・完全週休二日制 ・プレミアムフライデーの導入による残業抑止 ・年次有給休暇の取得率向上の取り組み ・正規・非正規社員間の不合理な処遇差の解消 ・非正規雇用者の正社員化などキャリアアップの推進 ・定期昇給制度によるモチベーションと生産性が向上 ・企業型 DC 導入による将来に備えた資産形成を支援 【ゴール 10】人や国の不平等をなくそう ・すべての従業員が公平に活躍できる制度設計と評価制度の見直し 【ゴール 11】住み続けられるまちづくりを ・地域清掃活動の実施（海洋・陸域資源の保全を目的） 【ゴール 12】つくる責任 つかう責任 ・AI ドライブレコーダーによる、交通安全運転の指導の実施 【ゴール 13】気候変動に具体的な対策を ・自転車通勤（特定小型原付き含む）低炭素通勤の促進 ・AI ドライブレコーダーによる急加速抑止などの運転スキル指導を実施しエコドライブを促進 【ゴール 14】海の豊かさを守ろう ・SDGs パスポートを活用したビーチクリーン活動を推進 ・SDGs アクション応援制度(社内インセンティブ)の運用 【ゴール 15】陸の豊かさを守ろう ・SDGs パスポートを活用したグリーンクリーン活動を推進 ・SDGs アクション応援制度(社内インセンティブ)の運用 【ゴール 17】パートナーシップで目標を達成しよう ・沖縄県ユネスコ協会とのパートナーシップを通じて、持続可能な地域社会の実現を目指します。	